

|          |   |     |   |
|----------|---|-----|---|
| 科目       | 国語表現法 (Japanese Expression)   |     |   |
| 担当教員     | 武久 真士 講師  |     |   |
| 対象学年等    | 応用化学科・4年・通年・必修・2単位【講義】(学修単位I)   |     |   |
| 学習・教育目標  | B1(100%)  |     |   |
| 授業の概要と方針 | 本授業では、国語を使用する様々な場面を取り上げ、ケースに応じた適切な言葉遣いや振る舞いを身につけることを目指す。授業はテキストおよび講師からの発問にしがたい、学生の発表とコメントを中心に進行する。また発表を行う過程で、発表資料の形式や視線の配り方など、プレゼンテーションの技術を向上させることも目標としている。 |     |   |
|          | 到達目標  | 達成度 | 到達目標別の評価方法と基準                                   |
| 1        | [B1]文章表現の基礎を習得する  |     | 文章表現の適切な形式や言葉遣いが身につけているか、定期試験およびレポートにより評価する     |
| 2        | [B1]論理的文章の基礎を習得する   |     | 論理的文章の執筆能力を、定期試験およびレポートにより評価する                  |
| 3        | [B1]レポートの書き方を習得する   |     | エビデンスに基づき自身の意見を展開することができるか、定期試験およびレポートにより評価する   |
| 4        | [B1]就職活動やビジネスの場で求められる文章の書き方を習得する  |     | 日常生活やビジネスの場に適した言葉遣いが身につけているか、定期試験およびレポートにより評価する |
| 5        | [B1]日常生活やビジネスの話における正しいことば遣いを習得する  |     | 日常生活やビジネスの場に適した言葉遣いが実践できるか、演習発表およびレポートにより評価する   |
| 6        | [B1]口頭発表における自己表現の方法を習得する  |     | 他者に対して自己の意見や論理を適切に伝達できるか、演習発表およびレポートにより評価する     |
| 7        |   |     |   |
| 8        |   |     |   |
| 9        |   |     |   |
| 10       |   |     |   |
| 総合評価     | 成績は、試験60% レポート10% プレゼンテーション30% として評価する。到達目標1～4に関する定期試験の平均値を60%、到達目標1～6に関するレポートを10%、到達目標5,6に関するプレゼンテーション30%として評価、100点満点で60点以上を合格とする                          |     |   |
| テキスト     | 野田尚史・森口稔『日本語を話すトレーニング』(ひつじ書房)<br>(三訂版)『国語の常識plus』(明治書院)<br>その他、適宜授業資料を配布する  |     |   |
| 参考書      | 野田尚史『なぜ伝わらない、その日本語』(岩波書店)<br>定延利之・茂木俊伸・金田純平・森篤嗣『私たちの日本語』(朝倉書店)<br>石黒圭『論文・レポートの基本』(実業之日本社)<br>石黒圭『文章は接続詞で決まる』(光文社)<br>河野哲也『レポート・論文の書き方入門』(慶應義塾大学出版会)         |     |   |
| 関連科目     | 第3学年国語  |     |   |
| 履修上の注意事項 | 自分の発表のときだけでなく、発表を聞く側のときも主体的に授業に参加すること   |     |   |

| 授業計画(国語表現法) |                       |   |
|-------------|-----------------------|---|
|             | テーマ                   | 内容(目標・準備など)   |
| 1           | ガイダンス                 | 授業の進行・運営に関する説明を行う。また、演習発表の順番も決定する                           |
| 2           | 演習発表概説(1)             | 演習発表の方法について説明する   |
| 3           | 演習発表概説(2)             | プレゼンテーションの技術について説明する  |
| 4           | 受講者発表                 | 『日本語を話すトレーニング』に基づいて発表を行う                                    |
| 5           | 受講者発表                 | 『日本語を話すトレーニング』に基づいて発表を行う                                    |
| 6           | 受講者発表                 | 『日本語を話すトレーニング』に基づいて発表を行う                                    |
| 7           | 受講者発表                 | 『日本語を話すトレーニング』に基づいて発表を行う                                    |
| 8           | 文章の作法(1)              | レポートを書く上での、基本的な文章作法について説明する                                 |
| 9           | 文章の作法(2)              | 履歴書を書く上での、基本的な文章作法について説明する                                  |
| 10          | 受講者発表                 | 『日本語を話すトレーニング』に基づいて発表を行う                                    |
| 11          | 受講者発表                 | 『日本語を話すトレーニング』に基づいて発表を行う                                    |
| 12          | 受講者発表                 | 『日本語を話すトレーニング』に基づいて発表を行う                                    |
| 13          | 受講者発表                 | 『日本語を話すトレーニング』に基づいて発表を行う                                    |
| 14          | 敬語                    | 敬語の種類や運用方法について学ぶ  |
| 15          | 前期のまとめ                | 前期の授業に関する総括を行う  |
| 16          | プレゼンテーションの方法          | プレゼンテーションの理論や方法について、改めて説明し、応用的な技術について学ぶ                     |
| 17          | プレゼンテーションと自己アピール      | 面接や履歴書の対策も兼ねた、自己アピールの方法について学ぶ                               |
| 18          | 受講者発表                 | 受講生の関心に基づいたトピックで発表を行う                                       |
| 19          | 受講者発表                 | 受講生の関心に基づいたトピックで発表を行う                                       |
| 20          | 受講者発表                 | 受講生の関心に基づいたトピックで発表を行う                                       |
| 21          | 受講者発表                 | 受講生の関心に基づいたトピックで発表を行う                                       |
| 22          | 国語とはなにか               | 「日本語」という概念の歴史性について学ぶ  |
| 23          | 国語表現の歴史(1)            | 国語表現の方法としての、短歌・俳句史について学ぶ                                    |
| 24          | 国語表現の歴史(2)            | 国語表現の方法としての、小説史について学ぶ                                       |
| 25          | 受講者発表                 | 受講生の関心に基づいたトピックで発表を行う                                       |
| 26          | 受講者発表                 | 受講生の関心に基づいたトピックで発表を行う                                       |
| 27          | 受講者発表                 | 受講生の関心に基づいたトピックで発表を行う                                       |
| 28          | 受講者発表                 | 受講生の関心に基づいたトピックで発表を行う                                       |
| 29          | 科学コミュニケーションの現在と未来     | 専門知識をどのように外部に伝達し社会に貢献するか、コミュニケーション技術の問題としてプレゼンテーションについて考察する |
| 30          | 本授業のまとめ               | 本授業で学んできたことから総括する   |
| 備考          | 前期定期試験および後期定期試験を実施する。 |   |